

授業評価アンケート結果を活用した授業改善事例

本学では、学生から寄せられた授業評価アンケートの結果を教育改善にも活用しています。ここでは、2025（令和 7）年度の授業評価アンケートから行った各授業における具体的な改善の取り組みを紹介します。

● 課題周知や試験内容の見直し

授業評価アンケートにおいて、課題の周知方法や試験内容について改善を求める声がありました。これを受け、UNIPA や Moodle など複数の手段を活用して課題を周知するなど、学生が必要な情報を確認しやすい環境づくりに取り組んでいます。

● 興味・関心を高める授業づくり

授業評価アンケートにおいて、学生の興味・関心をさらに高める工夫が必要であることが確認されました。授業内に問題演習や身近な事例を取り入れることで、学生が主体的に参加しやすい授業展開を目指しています。

● 板書の見やすさを改善

学生からの意見を踏まえ、板書の文字の大きさや構成が分かりやすいものとなるよう改善に取り組んでいます。授業内容をより理解しやすく伝えるため、視認性や説明の流れにも配慮しています。

● 柔軟な学習環境と実践的な学びの充実

ハイフレックス授業の運用により、学生の学習環境の柔軟性を高め、学習機会の拡充につなげています。また、演習における生成 AI の活用や、YouTube を用いた自己復習環境の整備により、実務応用能力や主体的な学びを促す取組を進めています。

● 授業時間・課題返却・学習活動の工夫

授業の終了時刻や課題返却に関する学生からの意見を受け、授業運営の改善に努めています。また、AI を用いて作成されたレポートへの対応として、授業内でのプレゼンテーションやペアワークを取り入れるなど、学習成果を多面的に確認する工夫を行っています。

- **課題評価とフィードバック方法の見直し**

課題の評価方法やフィードバックのあり方について、学生からの意見を踏まえて見直しを進めています。評価の妥当性を再確認するとともに、より効果的かつ効率的に学習支援につながるフィードバック方法を検討しています。

- **授業内容の分量に応じた説明の工夫**

学生から、扱う分野の量が多く、全体についてより丁寧な説明を求める声がありました。これを受け、課題等の補足説明の中で重要な内容を詳しく解説するなど、理解を深めるための工夫を行っています。

- **学部内 FD による授業改善の共有**

薬学部では、授業改善を目的とした FD 活動の一環として、教員間で授業評価アンケート結果を共有し、課題の分析や改善計画について意見交換を行っています。平均を下回った項目を中心に授業内容を見直すなど、組織的な改善につなげています。

- **学生の理解度に応じた授業ペースの調整**

一部の学生から、教科書の内容が難しいとの意見が寄せられました。学生の反応を確認しながら、授業の進度や難易度を調整し、理解しやすい授業となるよう継続的に改善を図っています。

授業評価アンケート結果を活用した授業改善事例

本学では、学生から寄せられた授業評価アンケートの結果を教育改善にも活用しています。ここでは、2024（令和6）年度の授業評価アンケートから行った各授業における具体的な改善の取り組みを紹介します。

● 振り返りながら成長を実感できる授業へ

授業で学んだ内容を振り返る機会を設け、自身の理解や成長を確認できるよう改善しました。振り返り活動と教員からのフィードバックを通じて、学習内容の定着と主体的な学びの促進を図っています。

● 仲間と学び合える授業へ

学習内容の理解と定着を高めるために、グループワークやディスカッション、プレゼンテーションを積極的に取り入れました。学生同士が意見を交換し、多様な考え方に触れながら学ぶことで、主体的に考える力や協働する力の育成にもつなげています。

● LMS を活用し、いつでも学習できる環境づくり

LMS (Moodle) を活用し、授業資料の配信や課題提出のオンライン化を進めました。また、Moodle への解答・解説の掲載により、授業時間外でも学習に取り組みやすい環境を整備し、復習や自主学習が充実できるよう努めています。

● AI を活用して学ぶ力を育む授業へ

学生の SNS 活用が進み、振り返り学習が容易となっています。演習や課題の中で生成 AI を活用し、情報収集やアイデア創出に取り組む機会を設けました。AI を適切に活用しながら課題解決に取り組むことで、これからの社会で求められる実践的な能力の育成を目指しています。

- **学生の声を生かした授業へ**

授業ごとのコメントシートやアンケート結果を活用し、学生の意見や要望を授業改善につなげています。授業期間中にも継続的に学生からのコメントシートを活用して、授業内容や進行方法を見直し、より理解しやすく満足度の高い授業づくりに取り組んでいます。

- **予習・復習で理解を深める授業へ**

予習課題や小テストを取り入れ、授業で学んだ内容を継続的に確認できるよう工夫しました。学習習慣の定着を促し、知識の理解と定着の向上につなげています。

- **わかりやすい教材・資料づくり**

資料がわかりにくかったという声から、講義資料やスライドの構成を見直し、図表や具体例を充実させました。資料をより視覚的にわかりやすいものにすることで、授業の理解度向上を図っています。

- **一人ひとりが参加しやすい授業へ**

少人数での対話や意見交換を取り入れ、学生が発言しやすい学習環境づくりを進めました。教員や学生同士のコミュニケーションを重視し、学びを深める授業を実践しています。学生自身が自分のことばで説明する機会を意識的に増やしています。

- **地域や企業とつながる実践的な学びへ**

地域社会や企業の事例、実務的な課題を授業に取り入れています。学んだ知識と社会とのつながりを意識することで、課題発見力や実践力の向上につなげています。

- **教員も学び続ける大学へ**

FD 研修会にて授業改善に関する情報共有を通して、教員同士が教育方法や工夫を学び合っています。優れた取組を授業に生かしながら、継続的な教育の質向上に努めています。

- **達成感が得られるように難易度を調整**

プログラミングを学ぶために、ゲーム開発を行いました。全員が理解できる状態ではありませんでした。受講生の前提知識やスキルを理解しながら、授業内容を調整していき、達成感が得られるような授業を展開しています。